

# CAGLIERO<sup>11</sup>

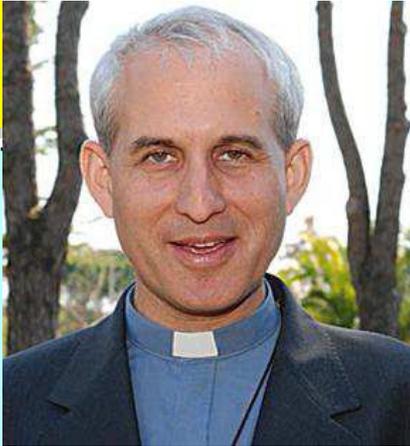
カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.64 - 2014年4月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



世界に向けて、  
ドン・ボスコの宣教師の心で!



**友** 人の皆さん、  
カリエロ11が生まれたときから、私は目と心に向けてきました。読者としていつも関心と尊敬を抱いていました。このたびカリエロ11は、私にも何かを言う機会を提供してくれることになりました! 第27回総会で宣教顧問に選出され、初めて皆さんにごあいさつ申し上げます。

識別と選挙が行われたローマでの日々、親愛なるカリエロ神父の言葉がしばしば私の心に浮かびました。「修道僧だろうとなかろうと、ぼくはドン・ボスコのもとに残る!」私はドン・ボスコがこの総会に求めるだろうと思われることについて、それほど心配しませんでした。その代わりに、ドン・ボスコと一緒に働き続けられる喜びに集中しました。

実際に今、ドン・ボスコの宣教師の心に直接、世界で仕えることができることをとても喜んでます。30年前、ブエノスアイレスで中学を卒業したとき、宣教師になりたいという望みから、サレジオ会の奉献生活を選ぶように私は導かれました。その時、私は考え、祈りました。「主よ、教区司祭になるなら、地理的に狭い範囲に留まることになります。」この何年間か、最初にアンゴラで、その後、アフリカ各地で体験をした後、今日、主は私を、限界線も国境もない全世界の前に置かれました。このように考え、祈りたくなります。「主よ、これはやりすぎではないですか……!」

親愛なる友人の皆さん、この最初のあいさつで、私はただ自分の「名刺」を差し上げたいと思います。肩書きは、サレジオ会宣教師です。

私たちの心からの感謝を、親愛なるヴァツラフ・クレメンテ神父様に申し上げたいと思います。神父様はこの6年間、サレジオ・ミッションのため、情熱と勇気をもって、創意豊かな奉仕を尽くされました。私たちは神父様の笑顔を思い出し、広めたいと思います。世界の5大陸にクレメンテ神父様が豊かに蒔いた種を心にかけて、育てましょう!

皆さん、ありがとう、そして聖なる、心の燃えるご復活をお迎えください!

*J. Basanes*

宣教顧問  
ギジェルモ・バサニェス神父

アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父様、  
最高評議会の皆さんお祝い申し上げます

おめでとう

# Avgnri

読者の皆さん、  
ご復活おめでとうございます





**私**の宣教師の召命は、生まれた町のオラトリオで始まりました。子どものころ、アニメーターをしながら、よく地元出身の宣教師の話に耳を傾けました。特にヤン・ストカ神父(スロバキア人宣教師、60年近くエクアドルの密林でシュアルの人々のために働く)とシベリアのサレジオ会員の話でした。そしてサレジオ会員として養成を受けていたとき、何度か、シベリアで働く会員に会いました。実地課程の1年目を終えたとき、私はシベリアのヤクーツクで実地課程を続けたいと管区長に願いました。ヤクーツクで、私たちのオラトリオとユースセンターで働き、すばらしい2年間を過ごしました。

トリノのクロチェッタで神学を学んだ後、2010年、総長に、必要とされる場所に自分を送ってほしいと願う手紙を書きました。夏の間、助祭としてスンニヤニ(ガーナ)の修練院で2か月間働くすばらしい体験をしました。夏が終わると、総長が私を再びシベリアに送ることになったという知らせを受けました。司祭叙階の後、2011年9月にローマで新宣教師研修コースに参加し、チャーベス総長から宣教の十字架を頂きました。外交上の問題の影響で、シベリアの居住許可を取得するのは大変です。実際、90日ごとにスロバキアとロシアの間を(1年半の間に)3回往復した後ようやく居住許可が取れました。

私たちのミッションはたくさんの挑戦に立ち向かっています。ヤクーツクは国籍の多様な30万人の人々の暮らす町です。私たちカトリック信者はわずかな少数派で、しばしばカルト集団のように見なされています。9月以降、私たちの小教区の主任司祭は150人ほどに洗礼を授けました。ほとんどの人は1代目のカトリック信者になります。仕事のためにこちらに来ているフィリピン人女性のほか、私たちの教会は、若い、生き生きとした共同体です。良いリーダーを育成するように努めています。リーダーを養成することによって、信徒の数が増えるだけでなく、特に質において成長が期待できるからです。

私たちは、地理的な広さでは世界一大きいイルクーツク教区に属しています(司祭の数はたったの45人)。そして私たちに任されたヤクーツクの管轄区は3百万平方キロ(インドの国土に相当)に及びますが、人口はわずか百万人です。厳しい大陸気候のため、年間の気温は氷点下60度から40度までと、大きな差があります。

いちばん近いカトリック・サレジオ会の共同体は、520キロ離れたアルダンにあります。この広大な領域の中で、カトリック・サレジオ会の共同体は私たちだけです。サレジオ会として、私たちはここで、若者の間で働く広大な畑を前にしています。ここでは、離婚やアルコール依存症という悲劇のため、児童養護施設が足りない状況です。ヤクーツクには、学校で学ぶおよそ2万5千人の若者がいます。社会の分野でも、やるべきことはたくさんあります。

私たちの共同体は今、特別な変化の時を経験しています。東方統治区がなくなったため、私たちは再びスロバキア管区に統合されました。現在、4人の宣教師会員がヤクーツクの2つの共同体にいますが、そのうち2人は今年、スロバキアに帰国し、後の2人は居住許可の取得を希望しながらスロバキアとの間を往復しなければなりません。この人材の問題はすでに3年間つづいていますが、乗り越えられることを希望しています。

この永久氷河の地で、イエスの物語を分かち合うのを助けに来てください!



スロバキア出身、シベリアの宣教師  
ヤン・ホヴァニャク司教



## サレジオ会の宣教の意向

ラテン・アメリカの若者たちのために  
-2013年WYDリオデジャネイロ大会から1年

若者たちが、政策の対象となるだけでなく、  
平和と人間的向上のためのボランティア、新福音宣教の使徒となりますように。

リオデジャネイロの世界青年の日大会に参加した若者たちのために祈ります。WYDの体験が他者に仕えるキリスト者としての生き方へと向かわせ、若者たちが社会の中で、特に最も貧しい人々の中で疲れを知らない働き手となりますように。

